

完成検査前検査申請書 記載要領

- ① 申請に係る施設区分の申請対象を「□」で囲む又は申請対象以外を二重線で抹消すること。
- ② 「申請日」は、申請書提出日を記入すること。
- ③ 「申請者」は、原則として当該危険物施設の設置者の住所、氏名を記入すること。
 - ※ 申請者が法人の場合は、備考2に留意すること。
 - ※ 申請手続きを代理人が行う場合は、申請代理人の住所及び氏名を記入するとともに委任状（委任状は、危険物製造所等設置許可申請書の記載例を参照）を添付すること。
なお、設置又は変更許可申請時に完成検査前検査申請も委任している場合は、委任状の添付は要しない。
- ④ 「設置者」欄は、当該危険物施設の設置者の住所、氏名を記入する。
 - ※ 備考2、備考5に留意すること。
- ⑤ 「設置場所」欄は、当該危険物施設の場所（土地の所在地）を記入すること。
 - ※備考5に留意すること。
- ⑥ 「製造所等の別」欄は、製造所、貯蔵所又は取扱所の別を記入すること。
- ⑦ 「貯蔵所又は取扱所の区分」欄は、危政令第2条及び第3条に掲げる施設区分（同令第3条第2号イ及びロを含む。）を記入する。製造所の場合は横線とすること。
以上の②～⑦は、当該申請に係る危険物施設の設置又は変更許可申請書の記入内容と同一とすること。
- ⑧ 「設置又は変更の許可年月日及び許可番号」欄は、当該申請に係る危険物施設の設置又は変更の許可年月日及び番号を記入すること。
 - ※備考5に留意すること。
- ⑨ 「タンク構造」欄は、次により記入すること。
 - ア 形状は、「角型」、「横（縦）置円筒型」等と記入する。中仕切タンクの場合は、その旨を記入する。
 - イ 寸法は、角型にあつては縦、横及び高さを、横（縦）置円筒型にあつては、鏡出、胴長（胴高さ）及び内径を内寸法で記入すること。
 - ウ 容量は、危規則第2条の計算方法で算出し、危政令第5条第2項のタンク容量を記入すること。
 - ※タンク内容積計算にあつては、平成13年3月30日 消防危第42号参照
 - エ 材質記号及び板厚は、JIS規格名称等による記号を記入すること。タンク板厚の寸法は、角型にあつては底板、側板及び上板をそれぞれ記入し、横（縦）置円筒型にあつては鏡板、胴板についてそれぞれ記入すること。
 - ※ミルシートの添付を求める場合があります。
- ⑩ 「タンクの常用圧力」欄は、「常圧、加圧、減圧」の別と当該タンクの使用時における最大圧力を記入すること。
 - ※ 圧力タンクは46.7キロパスカル以上の圧力がかかるものとする。
- ⑪ 「検査の種類及び検査希望年月日」欄は、水張検査又は水圧検査の別、検査希望年月日を記入すること。
- ⑫ 「タンクの製造者及び製造年月日」欄は、製造者が法人の場合は、名称、代表者氏名を記入し、タンクを製造した年月日を記入すること。変更工事の場合にあつては、工事を施行した者及び補修した年月日を記入すること。

例:〇〇工事株式会社 〇年〇月〇日補修

- ⑬ 「製造所等の完成予定期日」欄は、当該タンクを据え付ける製造所等の完成予定年月日を記入すること。
- ⑭ 「他法令の適用の有無」は、当該タンクについて高圧ガス保安法、労働安全衛生法の適用の有無を記入すること。